

事務事業の概要							
1	事務事業名	交通安全施設整備事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	建設管理課	課長名	川田茂人	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	3	安全で快適な道路の整備			
		今後の取組	1	道路空間の整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	交通安全施設整備事業					
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度	
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	交通安全施設の整備工事を行い、安全性を高めることにより、快適な市民生活を目指す。また、児童が安全に利用できるよう通学路を整備する。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		交通弱者を含むすべての人が、道路を安全に安心して利用していただくため、交通安全対策は必要不可欠であり、地元からのニーズも高まっており、今後も計画的に安全対策を進め、市民の安全確保のため従事者の増員や予算の確保が必要である。					
11	事業の内容(手法)	市道における歩道整備工事と防護柵・区画線設置、また、歩車道の段差解消のためバリアフリー工事を行う。					
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)	継続事業 西新堂町 通学路整備事業(歩道整備)において、補償料等の発生がある可能性あり。				
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 交通安全施設整備工事	5	5	5	5	
		② カーブミラー新規設置	60	60	60	60	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		42,536	46,586	46,586	46,586	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
	(a) - (b) = 一般財源		42,536	46,586	46,586	46,586	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要

1	事務事業名	道路新設改良事業						
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	3	安全で快適な道路の整備				
		今後の取組	2	主要生活道路の整備				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標	3-2-4	安心して便利に暮らせるまちをつくる				
		基本的方向	①	多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくり				
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	道路新設改良事業費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度

事務事業の実施

8	対象						
9	事業の目的	道路の新設・改良事業を行うことにより、安全・快適な道路環境を整備し、もって快適な市民生活を目指す。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	1	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		各集落や市街地、鉄道周辺の生活拠点地区を結ぶ道路を主要道路と位置づけ、条里制区画を形成する道路を活用しつつ、道路拡幅整備やネットワーク化を体系的に進めていく。また集落内・市街地を移動するための補助幹線道路として、狭あいな道路を地域のニーズに合わせながら、家屋のセットバック等も考慮し、整備を進める。					
11	事業の内容(手法)	道路がまだ整備されていない地域及び既存の道路（市道）について、地元要望、予算関係に鑑みながら、計画的に道路の拡幅、延長等を行っていく。					
		平成30年度からの拡充・変更内容（予算措置を必要とするものに限る）	奈良県と橿原市とのまちづくりに関する包括協定による医大周辺地域の道路新設工事（慈明寺・四条線、雲梯町・古川町線）を見込んでいるため。				
12	指標の推移	名称（単位）	29年度 （総計目標値）	30年度 （見込み）	31年度 （見込み）	32年度 （見込み）	
	成果指標						
	活動指標 ①	-	-	-	-		
	活動指標 ②	-	-	-	-		
13	コストの推移（単位：千円）		（当初予算）	（予算要求）	（見込み）	（見込み）	
	歳出（直接事業費）（a）		359,966	772,784	927,777	1,161,784	
	歳入（b）	受益者負担額					
		国県補助金等その他	322,211	303,050	432,300	572,000	
(a) - (b) = 一般財源		37,755	469,734	495,477	589,784		
14	増額理由	継続事業					

備 考

事務事業の概要

1	事務事業名	街路事業				
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち		
		施 策	3	安全で快適な道路の整備		
		今後の取組	2	主要生活道路の整備		
4	総合戦略の位置づけ	基本目標				
		基本的方向				
5	行革大綱の位置づけ	重点項目				
		項 目				
		改 革 名				
6	予算事業名	街路事業費				
7	事業開始年度	平成 3 年度	事業終了年度	平成 31 年度		

事務事業の実施

8	対象						
9	事業の目的	街路を整備することにより、伝統的建造物群保存地区「今井町」の環境保全及び住民の交通安全対策、利便性の向上を図る。また道路整備と併せて無電柱を実施し、景観向上に寄与し観光客数の増進を図る。(効果促進「交通広場整備」を含む)					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直しながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		事業用地の未買収地があり、鋭意交渉を重ね協力が得られるよう努めるとともに、市の財政状況を勘案しながら、事業補助金の確保に努力する。					
11	事業の内容(手法)	畝傍駅前通り線：事業認可区間 L=712m W=12~16m 事業期間 平成3年度~平成31年度 事業費 2,709百万円 今井五井線：事業認可区間 L=317.5m W=16~19m 事業期間 平成8年度~平成30年度 事業費 1,500百万円					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 畝傍駅通り線進捗率(累積事業実施費/総事業費)	96.7	99.5	100		
		② 今井五井線進捗率(累積事業実施費/総事業費)	96.5	100			
13	コストの推移(単位：千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		144,437	126,064	13,064	64	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	130,900	63,800	7,150	0	
(a) - (b) = 一般財源		13,537	62,264	5,914	64		
14	増額理由	継続事業					

備 考

事務事業の概要							
1	事務事業名	道路維持管理事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	建設管理課	課長名	川田茂人	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	3	安全で快適な道路の整備			
		今後の取組	3	道路の維持・施設管理の充実			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	道路維持管理費					
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度	
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	地元要望や道路パトロールにより適切な道路の維持管理を行い、市民の安全で快適な生活環境を目指す。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		当該事業は、地元要望やパトロール等により、道路の劣化箇所等の整備を行い市民の生命財産を守ることを目的としている。年々管理延長及び交通量の増加に伴い、維持管理事業は継続的に増加が見込まれるため、従事者の増員や予算の確保が必要である。					
11	事業の内容(手法)	道路(市道・里道)について、舗装工事、擁壁設置工事等の整備工事を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 道路維持工事	53	53	53	53	
		② 市内一円パトロール巡回	4	4	4	4	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		204,071	202,016	202,016	202,016	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	22,000	22,000	22,000	22,000	
(a) - (b) = 一般財源		182,071	180,016	180,016	180,016		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	地下歩道・歩道橋・駅前広場維持管理事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	建設管理課	課長名	川田茂人	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	3	安全で快適な道路の整備			
		今後の取組	3	道路の維持・施設管理の充実			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	道路維持管理費					
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度	
事務事業の実施							
8	対象	地下歩道・歩道橋・駅前広場等の公共施設					
9	事業の目的	地下歩道・歩道橋・駅前広場等の公共施設を適切に維持管理し、安全かつ清潔に保つことにより、市民の安全と快適な生活を目指す。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		定期的に巡回等を行い、今後とも安全で安心して利用出来る様、快適な環境を保持していく。					
11	事業の内容(手法)	各施設において、清掃、植栽管理、照明等の維持管理、また、補修により良好な状態に保つ。					
		平成30年度からの拡充・変更内容 (予算措置を必要とするものに限る)	防犯カメラ設置 (新規)八木駅前北広場 2台 (取替)八木駅前南広場 8台、榎原神宮前駅通路 東口側 2台 西口側 3台 予算については、[細々節] 地下道等維持管理業務委託料で計上				
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 維持管理箇所	53	53	53	53	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		66,512	79,404	69,793	69,793	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		66,512	79,404	69,793	69,793		
14	増額理由	拡充事業	事業内容の拡充によるもの				
備 考							

実施計画 地下歩道・歩道橋・駅前広場維持管理事業（建設管理課）

事業の具体的内容の検討							
15	妥当性の検討	なぜ市が関与しているのか	番号	1 義務	法律等（条例を除く）で義務付けられた事業		
			2	2 任意	法令名（ ） 公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業		
			説明	防犯カメラ設置について、市の管理地であるため。			
16	緊急性の検討	なぜ今なのか	説明	防犯カメラ設置について、駅前広場等を安全に安心して利用出来る様、早急な対応が必要である。			
17	有効性の検討	期待される効果・メリット	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
			説明	防犯カメラ設置について、安全で安心な管理施設の利用が出来る。			
		上位施策（総合計画・基本計画）への貢献度	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
			説明	適切な施設管理を行う事により、快適な環境を保持できる。			
18	効率性の検討	コストの検証（費用対効果の検証を含む）	3	1 事業費も人件費も低減	2 人件費は増加するが事業費は低減		
				3 事業費は増加するが人件費は低減	4 事業費も人件費も増加		
			補助金等の有無	無	補助金名（ ）		
			説明	有効性を考慮した中で設置。 [予算額 ￥9,611,000]			

事務事業の概要							
1	事務事業名	橋梁維持補修事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	建設管理課	課長名	川田茂人	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	3	安全で快適な道路の整備			
		今後の取組	4	橋梁の整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	道路橋りょう管理事務費・橋りょう維持修繕料					
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度	
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	市内にある橋梁の維持管理を行い、橋梁の長寿命化を図り、安全を保つことにより、市民の安全で快適な生活環境を目指す。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		当該事業は、市民の生命、財産を守るために継続して行わなければならない事業である。また、今後事業の進捗を考えたとき、予算や従事者増員の検討が必要である。					
11	事業の内容(手法)	平成26年7月に「道路法施行規則の一部を改正する省令」が施行され、橋梁等については、近接目視により、5年に1回の頻度で定期点検を実施することが義務付けられたことを基に点検を行い、点検の結果、補修箇所があれば年次計画を立て工事を実施する。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 橋梁維持修繕工事	6	10	10	10	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		145,700	131,500	131,500	131,500	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	97,185	71,500	71,500	71,500	
	(a) - (b) = 一般財源		48,515	60,000	60,000	60,000	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要							
1	事務事業名	行政財産管理業務					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	建設管理課	課長名	川田茂人	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	3	安全で快適な道路の整備			
		今後の取組	5	適切な道路財産管理の実施			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	道路橋りょう管理事務費					
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度	
事務事業の実施							
8	対象	檀原市道路					
9	事業の目的	市道路及び里道水路をはじめとする行政財産を、関係法令等に基づき公有財産として適切に管理し、市民の安全で快適な生活の確保					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		市道路敷地内に未登記物件が多数残存しているため、今後、事業の進捗を考えたとき、予算の確保や従事者増員の検討が必要である。					
11	事業の内容(手法)	市道路及び里道水路をはじめとする行政財産について、道路法等の関係法令により適切な管理を行う事を基本とする。具体的には、道路法及び地方自治法、または、檀原市法定外公共物管理条例に基づき、各種申請の審査等を行う許認可業務、または境界明示申請に対する境界確定業務の実施、そして、都市計画法による開発指導及び市道路台帳整備を確実に実施する。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 年間明示立会件数	200	200	200	200	
		② 年間占用等申請件数	1200	1200	1200	1200	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		15,886	13,308	26,651	14,200	
	歳入(b)	受益者負担額	50,653	51,852	51,855	51,856	
		国県補助金等その他					
	(a) - (b) = 一般財源		-34,767	-38,544	-25,204	-37,656	
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要

1	事務事業名	市道路未登記処理業務				
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	建設管理課	課長名	川田茂人
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち		
		施策	3	安全で快適な道路の整備		
		今後の取組	5	適切な道路財産管理の実施		
4	総合戦略の位置づけ	基本目標				
		基本的方向				
5	行革大綱の位置づけ	重点項目				
		項目				
		改革名				
6	予算事業名	道路橋りょう管理事務費				
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度

事務事業の実施

8	対象	檀原市道路					
9	事業の目的	道路法に基づく市道路区域内に残存する個人登記名義の土地を檀原市名義に登記処理を行う事により、道路管理権の確立と市道路の適切な財産管理の実現。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		市道路敷地内に未登記物件が多数残存しているため、今後事業の進捗を考えたとき、予算の確保や従事者増員の検討が必要である。					
11	事業の内容(手法)	市道路区域内に残存する個人名義の土地について、利害関係人に対し檀原市へ名義変更をすることに協理理解を求め登記処理を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 未登記処理件数	50	50	50	50	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		7,265	8,186	8,186	8,186	
	歳入(b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		7,265	8,186	8,186	8,186		
14	増額理由	継続事業					

備 考

事務事業の概要							
1	事務事業名	加盟団体運営事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	3	安全で快適な道路の整備			
		今後の取組					
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	都市計画総務管理費					
7	事業開始年度	昭和 59 年度	事業終了年度	平成 一 年度			
事務事業の実施							
8	対象	各会員市町村					
9	事業の目的	加盟団体規約目的達成のため、積極的に要望等の活動を推し進めることにより、安全で快適な道路網等の整備を促進することを目的とする。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		今後の社会情勢の変化に応じ、各会のより効果的な運営方針を検討しながら継続していく。					
11	事業の内容(手法)	各会（南阪奈道路整備促進期成同盟会、奈良県国道連絡会）の事務局として、事務担当者会議、理事会、総会、視察研修、要望活動等の事業を実施する。これらの事業実施に伴い、国・県等関係機関との連絡調整、調査、報告、会費の徴収、会予算の経理事務等を行う。 奈良県国道連絡会の上部組織である近畿国道協議会については、活動に積極的に参加するとともに、奈良県国道連絡会事務局として会員市町村への案内、出欠とりまとめ等の事務を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容（予算措置を必要とするものに限る）					
12	指標の推移	名称（単位）	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標	事業参加割合(%)	100	100	100	100	
	活動指標	①					
		②					
13	コストの推移（単位：千円）		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出（直接事業費）(a)		221	221	221	221	
	歳入 (b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		221	221	221	221		
14	増額理由	継続事業					
備 考							

事務事業の概要								
1	事務事業名	国・県施行の推進支援事業						
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	3	安全で快適な道路の整備				
		今後の取組						
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	都市計画総務管理費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象	京奈和自動車道事業、国道24号歩道拡幅事業、みち再生事業、JR畷傍駅周辺整備事業						
9	事業の目的	地元、市関係機関等の調整を行い、国・県事業の整備促進を図る。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		国・県施行による道路整備事業が円滑に進むよう、今後も継続して地元と関係機関との調整等を行う必要がある。						
11	事業の内容(手法)	<ul style="list-style-type: none"> ・京奈和自動車道の事業推進に向けての地元調整と地元要望に関する関係機関との調整業務 ・国道24号歩道拡幅事業(新賀南~四条町)推進に向け、関係機関との計画・事業調整業務 ・橿原市主体で策定した『みち再生事業計画』のうち奈良県が担当する県道大和八木停車場線の事業推進に向け、関係機関との調整業務 ・JR畷傍駅周辺の国道165号整備事業による歩道整備及び道路の拡幅の事業推進に向け、関係機関との調整業務 						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標	—	—	—	—	—		
	活動指標	①	—	—	—	—		
		②	—	—	—	—		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		221	221	221	221		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他						
(a) - (b) = 一般財源		221	221	221	221			
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要

1	事務事業名	建設管理課総務事業				
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	建設管理課	課長名	川田茂人
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち		
		施策	3	安全で快適な道路の整備		
		今後の取組	5	適切な道路財産管理の実施		
4	総合戦略の位置づけ	基本目標				
		基本的方向				
5	行革大綱の位置づけ	重点項目				
		項目				
		改革名				
6	予算事業名	土木管理事務費				
7	事業開始年度	平成	年度	事業終了年度	平成	年度

事務事業の実施

8	対象	内部事業					
9	事業の目的	課内業務全般を円滑に進める					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		事務の総合的な管理を推進するため関係機関との連携強化に努めると共に、市民ニーズの高度化に伴い効果的な専門研修により求められる専門知識・技能を修得する。					
11	事業の内容(手法)	研修会・協議会への参加手続き及び負担金支出 アルバイト雇用手続き及び賃金等の支出 その他事務全般					
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	①					
		②					
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出(直接事業費)(a)		671	661	661	661	
	歳入(b)	受益者負担額	134	137	137	137	
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		537	524	524	524		

14	増額理由	継続事業
----	------	------

備 考